

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第1回音更町総合計画推進委員会
開催日時	平成30年7月27日（金） 午後3時00分から午後4時15分
開催場所	音更町役場庁舎2階 庁議室
委員出席者	林委員長職務代理、荒川委員、岡庭委員、梶谷委員、河田委員、小林委員、杉原委員、土田委員、宮崎委員、
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 小林氏 北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課主査（地域創生） 若槻氏
町側出席者	渡辺企画財政部長、岩館庁舎改修技術担当部長、川瀬建築住宅課参事、重堂企画課長、西岡企画調整係長、田中企画調整係主任、松島企画調整係主事、津久井まちづくり政策推進員
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 音更町総合計画推進委員会委員委嘱状の交付 3 あいさつ 4 議件 <ul style="list-style-type: none"> (1) 重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書の検証について 5 その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 次回のスケジュールについて
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町総合計画推進委員会議案 ・会議次第 ・音更町総合計画推進委員会委員名簿 ・重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書 ・推進管理評価調書担当部署一覧 ・買取型公営住宅整備事業に関する概要資料 ・民間賃貸住宅家賃補助事業（子育て世帯向け）に関する概要資料 ・音更町空家活用定住促進事業補助金に関する概要資料 ・音更町老朽危険空家等除去事業補助金に関する概要資料
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【住宅整備】</p> <p>委員： 子育て住宅を退去した10件のうち、新築しなかった8件の人の退去理由は。</p> <p>事務局： 子育て世帯としての入居後に離婚により妻と子が退去、母子家庭として入居後に結婚により違う住宅へ転居、町外転居による退去など、子育て住宅への不満によるものではない。</p> <p>委員： 今後、町としては買取型公営住宅整備事業を推進していく考えなのか。</p>

事務局： 現在、柳町団地で24戸を建設中だが、引き続き当該制度を活用し、今年から5か年の間に毎年20戸前後を整備予定であり、計100戸を建設する予定。

委員： 新しく整備される柳町団地への入居希望は多いのか。

事務局： 建替え事業であるため、現在の入居者が優先されるが、新規の入居希望はかなりの数あるものと考えている。

委員： 現在の柳町団地と比較した建替え後の住宅の広さなどはどうなっているのか。

事務局： 建替え後は、現在の40平米の広さが、1LDKで55平米、2LDKで65平米程度となる。家賃については、一番低い段階でも2万円前後からとなるため、段階的に家賃を引き上げる経過措置などを講じる予定。

委員： 現在の柳町団地の入居者で、引き上げ後の家賃を負担できない人が生活する場所は確保できるのか。

事務局： 築年数の経過により当初よりも家賃が安くなることは想定されるが、今後1万円以下になることは考えにくい。減免制度の活用や他の団地への転居を選択肢としてご検討いただければと思う。

【空き家対策】

委員： 音更町における転入者の空き家購入に対する補助の額は、他の市町村に比べて低い印象を受けるがどうか。

事務局： 周辺の一市三町や同規模の市町村と比較した場合、低い水準ではない。

委員： 他の市町村の支援策などとも比較しながら、音更町の人口が流出していかないような維持対策も必要となってくる。

委員： 音更町で家を建てたくても土地がないために他の市町村へ転居した知人もいることから、対策をお願いしたい。

事務局： 空き家の情報を町が一元的に管理してインターネット上で提供しているが、今後はより多くの方の目に触れるようにするのが課題。

委員： 50万円の補助額で空き家解体の促進になっているのか。

事務局： 単なる解体ではなく、周辺に迷惑をかけている特定空き家の解体に対する補助制度となっており、相談があっても該当しないというケースも数件あった。補助対象となり制度活用に至ったのは本日までに2件。

委員： 町から空家等除去事業の活用に関する周知は行っているのか。

事務局： 調査の過程で把握した空き家の持ち主に対して制度の周知を行っているほか、不動産業者にも説明を行い、来客があった際の周知にご協力いただいている。